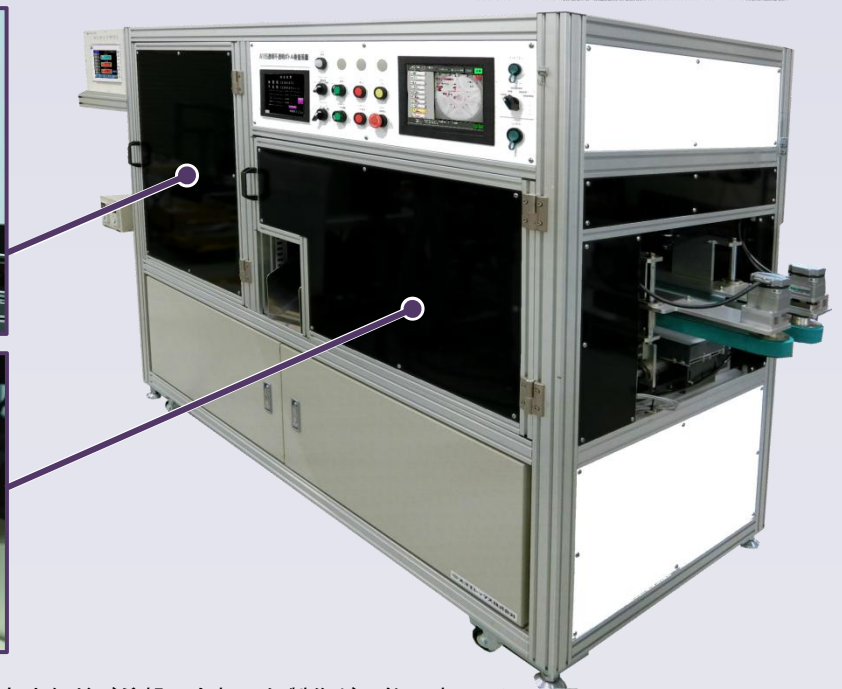


### ボトルを直線搬送、検査ステージでボトルを回転させる搬送機

#### 検査システムメーカーが創った検査のための搬送機

ボトルを検査する場合、直線ライン上で多方向にカメラ、照明を配置して検査する手法は調整の煩わしさ、コスト、設置スペースの問題があり、一般的にノズル部、胴部全周を精度高く検査するためにボトルを自転させる手法が用いられますが、処理本数が速い装置はロータリー式搬送のものが多く、強固で複雑な構造となりメンテナンスもさることながら高価システムとなりがちです。

型替えが楽で、カメラの前でボトルをシンプルに回す… **Bottle Rotate System** 成型サイクルがゆっくりした現場に最適な検査システムです



- ボトルの流れ方向、バイパス高さ、受渡し方法などご希望に合わせた製作が可能です
- ボトルの形状、材質、重量、処理本数などによりボトル転倒防止用の吸着用ブロー(4.4 m<sup>3</sup>×1~3基)が必要です
- 排出、シリンダ動作にエア(0.7MPa以上)、システム電源 三相 AC200V(1KVA, 50A)をご準備ください

- 型替えはワークヘッド交換、高さ(ハンドル式)、ガイド等の調整と短時間で済みます
- ボトルの材質、形状などによりりますが最大処理本数は毎分80本です
- 入口ジョイントコンベア・**BoRoS IV**・天面、底部検査を組み合わせた一体型が主流です



多種・多様のボトルに対応できます

※ 処理速度は50本程度までとなりますが、エアリーク検査の製作も可能です。判定回路はオリジナルの基板を使用して高い精度を実現しています。ボトルの種類、容量により処理本数能力に制約があります。

